



MAMPEI HOTEL

最優秀賞 M・F様

幼い頃から毎年夏の終わりに訪れていた軽井沢。

滞在中に必ず一度は万平ホテルのメインダイニングで夕食を頂くのが家族の習慣でした。日常を離れてリラックスした家族での食事はいつも穏やかで楽しいものでした。

お洒落だった大叔母はご機嫌でワイン片手に微笑んでいたのをよく覚えています。

私はもうすぐあの頃の大叔母と同じ50歳になります。

東京で生まれ育った私には故郷はなく、時の流れと共に家や母校、街、そして家族の形も変わっていきました。そんな私は今でも時折、シーズンオフを狙って万平ホテルを訪れています。

色々な事が変わってしまった今も万平ホテルは私にとって変わらない唯一の場所です。

仕事に疲れていてもホテルに到着すると肩の力がすっと抜けてゆきます。今は大切な親友と共にあの頃の大叔母と同じくワイン片手に食事を楽しみ、あの頃憧れの場所だったBarでカクテルを頂きながら心ゆくまで語らうのが小さな楽しみです。

めまぐるしく変わってゆく毎日の中で、変わらない場所がたった1つあるという事が、人生の大きな支えになる事があります。多くの人にとってそれは故郷なのだと思いますが、私にとってはこの万平ホテルこそがその場所なのです。



MAMPEI HOTEL

優秀賞 I・O様

ホテルの洋朝食でゆで卵をわざわざ注文したのは万平ホテルが最初だった。
ホテルでゆで卵なんて損したようにも思ったが、不図(ふと)夫婦で
ボイルドエッグにしてみた。

私にとってゆで卵とは、子供の頃に母親がホイッとだしてくれていた
毎朝のごく普通料理。

陶器のスタンドにハマっているこのボイルドエッグは、どう食べるのが
正しいのかしら?ホテルの方は優しく教えて下さった。

卵は柔らかくありつつ、掬い応えも残っている。

黄身は艶やかで白身はプリっとする。

丁寧な殻をむきスプーンを差し入れてゆっくり食べる。

私達の中でゆで卵の概念は更新された。

それからの私達はホテルの朝食ならゆで卵を選ぶようになった。

家でもエッグスタンドを用意して時間のある日曜の朝には意気込んで
二人でソーセージを焼き、グラスを磨いてオレンジジュースを注ぎ、
ヨーグルトを盛り、食パンにバターを並べた。

そして時間を計って卵を茹で今日はおいしい、

今日は少し固くなったと楽しく会話と食事をするようになった。

万平ホテルの朝食で私達のバリエーションが増えた。

二人だけの旅の思い出と新しい習慣を万平ホテルがつくってくれた。

とても感謝しています。

The logo for MAMPEI HOTEL is written in a bold, green, sans-serif font. Above the text is a stylized green line drawing of a branch with three bell-shaped flowers and a large leaf. The entire graphic is set against a light brown, textured background that resembles aged paper.

MAMPEI HOTEL

優秀賞 N・W様

私が初めて歩いたのは万平ホテルでした。

いつ来ても上質で温かくホッとするこの空間は、人生の大切な時にそっと寄り添ってくれています。

結婚のきっかけは万平ホテルのカレンダーでした。

家族にとって特別なホテル。

いつも眺めていたいとカレンダーを部屋に飾っていたところ

なんと彼もクラシックホテルが家族にとって特別な場所だという

共通点が見つかったのです。

それから一気に距離が縮まり、びっくりするほどスムーズに結婚へ向かっていきました。

物心ついた頃からメインダイニングの前に凜と立つウェディングドレス姿に憧れていました。

いつか私もこんな花嫁さんになりたいと夢に見ていました。

まさか万平ホテルがこのご縁を結んでくれるとは、本当に感謝しています。

残念ながらコロナ禍もあり、万平ホテルで挙式を執り行うことは

叶いませんでしたが、初めての結婚記念日についに訪れることができました。

両親と夫と過ごしたディナータイムはとても感慨深く、一生忘れられない時となりました。

たくさんの思い出が詰まった万平ホテル。

これからも素敵な思い出を紡ぐことを楽しみにしています。

The logo for MAMPEI HOTEL is written in a bold, green, sans-serif font. To the right of the text is a decorative illustration of a green vine with several bell-shaped flowers hanging from it, set against a light brown background that resembles a piece of paper with a torn edge.

MAMPEI HOTEL

優秀賞 T・K様

『お母さん！ブルーベリータルト作って！』

軽井沢で凄く美味しいブルーベリータルト食べたんだよ！』

夏休みに埼玉の祖父母宅（私の両親）へ1人で泊まりに行っていた
小5の息子が、帰ってきて発した最初のことば。

話を聞くと、祖父母と軽井沢へ遊びに行き、万平ホテルで食べた
ブルーベリータルトの味が忘れられないものになったそう。

それから約10年、車の免許を取った息子が万平ホテル改装の
ニュースを聞き、改装前に祖父母と一緒に泊まりに行こうと誘ってきた。
すっかり年老いて、車も手離し軽井沢に行くこともなくなった両親、
大好きな孫の運転で行けると大喜び。

到着し、まずはブルーベリータルトを満喫。

ディナーを楽しみ、息子人生初のBar へ！

三世代でゆっくりおしゃべりをした幸せな時間、
万平ホテルでの素敵な思い出がまた増えた。

『万平ホテルありがとう！』

改装後、またみんなで行こうね。今度は主人も娘も一緒に！

そして、いつか、まだ見ぬ孫と一緒に！